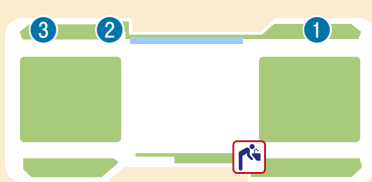


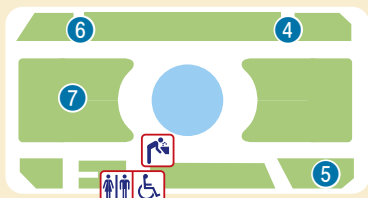
## 大通西1丁目



## 大通西2丁目



## 大通西3丁目



大通公園には、ライラックをはじめ約九十種、四千本以上のさまざまな樹木が生育し、西一〜八丁目の八十七カ所の花壇では、花々が四季折々の姿を見せてくれます。

夏には、大小十一基の噴水・壁泉が、涼しさを演出します。

そんな大通公園ですが、他にも見どころがたくさんあります。

### 大通公園第一号の碑

#### 開拓記念碑⑪

西六丁目には、歴史を感じさせる大きく古い碑が建っています。

明治十九年、幕末の箱館戦



争や咸臨丸で知られる榎本武揚の書です。当初は、日本で初めての都市公園である偕楽園（北区北七西七）に建てられたもので、後に現在の場所に移されました。

### 都会の緑に調和する彫刻

#### ブラック・スライド・マントラ⑮

東区のモエレ沼公園の計画や設計に携わったことで、有名なイサム・ノグチの作品です。

西八・九丁目の公園が連なっている中央に設置されています。設置される前は、南北に道路が走っていましたが、彼の遺言を尊重し、道路を遮



断して公園をつなげ、現在のようになりまし。また、生前に「この彫刻は、子どもたちのお尻で磨かれて完成する」と言っていたそうです。

### ライラックを歌った

#### 吉井勇歌碑⑧

昭和三十五年、市民のアンケートで札幌の木として選ばれたライラック（リラ）。

以前から、札幌市民に親しまれていたこの木を、昭和三十年に、札幌を訪れた歌人吉井勇が、旅の記念に残した「北遊小吟」の一首として、「家ごとにリラの花咲き札幌の・・・」と歌ったそうです。



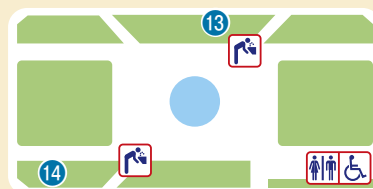
### 彫刻：モニュメント

園内には、全部で二十基の彫刻やモニュメントが設置されています。

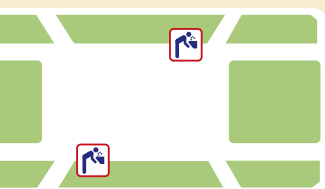
- ① 花の母子像
- ② ベンソンの水飲み
- ③ 開拓母の像
- ④ 牧童の像
- ⑤ 湖風の像
- ⑥ 石川啄木歌碑
- ⑦ 泉の像
- ⑧ 吉井勇歌碑
- ⑨ 聖恩碑
- ⑩ 日時計
- ⑪ 開拓記念碑
- ⑫ 奉仕の道
- ⑬ 漁民の像
- ⑭ 集団帰国記念
- ⑮ ブラック・スライド・マントラ
- ⑯ 有島武郎文学碑
- ⑰ 黒田清隆之像
- ⑱ ホーレス・ケプロン之像
- ⑲ マイバウム
- ⑳ 若い女の像

※場所については、二〜三ページ上下にあるMAPを参照してください。

## 大通西7丁目



## 大通西8丁目



## 大通西9丁目



- 凡例
- : 水飲み場
  - : トイレ
  - : 身障者トイレ